

公明党の連立離脱

26年続いた自公連立に幕、首班指名選挙の行方に不透明感

2025年10月14日

自公連立解消で政局混迷、日経平均終値は前週末比1,241円48銭安

26年間続いた自民・公明の連立が消滅され、首班指名選挙の行方は急速に不透明さを増しています。米中対立の再燃もあり、14日の日経平均は46,847円32銭（前週末比1,241円48銭安）で引けました。自民党総裁選で高市早苗氏が新総裁に選出された直後は、財政拡張的な政策や緩和的な金融環境の継続への思惑から、株高など「高市トレード」の動きが活発化しましたが、その後、保守色の強い高市氏の就任を受け、公明党では自民党への抵抗が強まり、連立協議は難航。自公関係に揺らぎが生じる中、円安の進行で輸入物価上昇による国内物価の上振れ懸念が強まったこともあり「高市トレード」は巻き戻されました。特に、10日15時過ぎの公明党の連立離脱報道後には、日経平均先物が大きく下落しました。

今後の政局シナリオとして、①自民の単独政権、②自民と野党の一部による連立、③野党結集による政権交代などが考えられます。①の場合は言うまでもなく、少数与党の継続となります。②については、自公連立時であれば国民との連立で過半数を確保できましたが、現在では国民に加え維新も取り込まなければ過半数に届きません。③では、立憲・国民・維新・公明の4党が連立すれば、過半数を超えます。立憲は国民の玉木代表を統一候補として提起するなど、歩み寄りの姿勢を見せていますが、政策協調が十分に進まない中、単なる数合わせで統一候補を擁立するのは現実的ではないとの見方も少なくありません。もっとも、政治は経済合理性だけでは動かないため、今後の展開に要注目です。

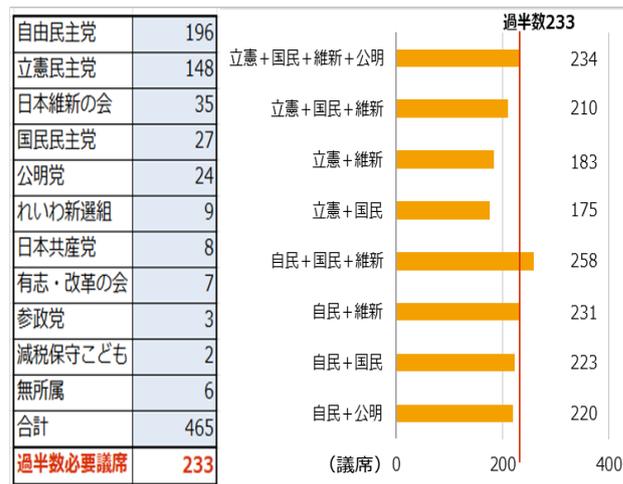
■ CME日経平均先物



※3分足、直近値は2025年10月14日15時30分

(出所) ブルームバーグより大和アセット作成

■ 衆院の会派別勢力と政局シナリオ



(出所) 衆議院HPより大和アセット作成

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。